

仕様書

1. 委託事業名

四国をぐるっと楽しむ旅アプリ「しこくるり」プロモーション業務

2. 実施目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、全世界的に観光需要が落ち込んだ状況となっているが、ワクチン接種の進展により、段階的な観光需要の回復が期待できる。

そこで、四国域内の広域周遊観光振興の起爆剤として、(一社)四国ツーリズム創造機構(以下、「当機構」という。)が現行アプリ「四国旅ぱす。」をリニューアルして開発する、域内の対象観光関係施設を通常より安く利用することのできるスマートフォン用アプリ「四国をぐるっと楽しむ旅アプリ『しこくるり』」(以下、「しこくるり」という。)の利用を促進することにより、四国域内での周遊観光及び四国外からの誘客促進を図る。

3. 委託内容

(1) 業務内容

9月1日にリニューアル予定の「しこくるり」のプロモーションを行うことで、四国内外の方への認知度を高めるとともに、新規アプリダウンロード者数を増加させ、四国域内の観光消費及び周遊観光を促進する。

(2) 条件

以下の条件で提案すること。なお、①については必須であるものの、重点は②、③に置く。なお、②、③は例を示すものであり、全項目必須ではなく、自社の強みを十分に生かした独自性と実現可能性の高い企画提案を行うこと。

① アナログ施策(必須)

次の各項目を必ず満たすこと。

- ・A4チラシ: 40,000 部(施設設置用、営業用)、jpeg データ
- ・プロモーションに効果的な設置施設について提案すること。

② デジタル施策

デジタル施策の実施は必須であるが、次に示す内容はあくまで一例であり、必ずしも全てを行う必要はない。目標数値を達成するにあたって効果的な施策を企画提案すること。

<例>

- ・WEB 広告
- ・SNS 広告
- ・交通拠点などでのデジタルサイネージ広告
- ・インフルエンサー施策

③ その他

上記①②のほかに目標達成に効果的な手法があれば、企画提案すること。ただし、必ずしも実施する必要はない。

<例>

- ・懸賞施策
- ・企業とのタイアップ広告(航空会社とのタイアップは別予算で実施予定)

<目標数値>

- ・新規ダウンロード者数 8,000 名以上(委託業務開始～2022年3月31日)

(3) 期間

・「しこくり」リニューアル以前(順次)～2022 年 3 月 31 日

(4) プロモーションにあたっての留意点

各プロモーション施策の実施にあたっては、以下に留意すること。

ア. 当機構と連携して取り組み、当機構から指示を受けた時はこれに従うこと。

イ. 四国経済連合会、四国アライアンスに対し、当機構とともにプロモーションへの協力依頼を行うこと。また、依頼内容を検討し、当機構と協議すること。

ウ. プロモーションのターゲットを明確化すること。なお、プロモーションの効果を最大化するよう、波及効果の見込まれるターゲットを設定すること。

エ. 当機構の持つHP、SNS等のオウンドメディアを活用することが可能であること。

オ. 受託者はプロモーション内容・表現に責任を持つものとし、視聴者等からコメントなどの反応があった場合には、必要に応じて迅速に対応すること。また、プロモーションに対して批判的な反応を避けるため、視聴者等からの反応を注視し管理すること。なお、必要があれば回答の内容や対応について、当機構と協議するものとする。

4. 関係企業一覧

「しこくり」に関する開発、提携などで関係する企業、内容は以下のとおり。なお、本件委託におけるタイアップを必須とするものではない。

企業名	関係内容・実装機能
(株)SPC	アプリシステム開発、精算代行業務 (※開発との一体化が前提の企画提案は認めない)
四国旅客鉄道(株) 西日本旅客鉄道(株)	JR 西日本 setowa で「四国DC満喫きっぷ(仮)」購入者に特別価格でポイント付与
日本航空(株)	「JAL麗らか四国キャンペーン(7 月～12 月)」でパッケージ商品購入者に無償ポイント付与
全日本空輸(株)	「ANA誘遊四国キャンペーン(10 月～3 月)」でパッケージ商品購入者に無償ポイント付与
(株)リクルート	「じゃらん」との API 連携
四国電力送配電(株)	アプリ「遍路のあかり」でのプッシュ通知、情報配信

5. 運用報告書

2 ヶ月ごとに、各プロモーション結果の分析、振り返りと今後の運用方針について、打ち合わせを設定し、報告すること。

また、業務委託期間終了の翌月末までに、当該事業の振り返りを事業報告書として、まとめて提出すること。

6. 作成物に関する権利の帰属

(1) 本件委託においては、著作権の取扱いに十分注意すること。

(2) 本件委託の履行に伴い発生する全著作物(地図及び第三者があらかじめ著作権を保有している図・写真・映像を除く)に関する一切の権利は、当機構に帰属する。

(3) 本件委託により得られる著作物の著作者人格権について、受託者は将来にわたり行使しないこと。また、受託者は本作品の制作に関与した者について著作権を主張せず、著作者人格権についても行使させないことを約するものとする。

(4) 本件に使用するイラスト、写真、映像、その他資料等について、第三者が権利を有するものを使用する場合、第三者との間で発生した著作権その他知的財産権に関する手続や使用権料等の負担と責任は、全て受託者が負うこと。

(5)上記の規定は、第三者に委託した場合においても適用する。受託者は、第三者との間で必要な調整を行い、第三者との間で発生した著作権その他知的財産権に関する手続や使用権料等の負担と責任を負うこと。

(6)その他、著作権等で疑義が生じた場合は、別途協議の上、決定するものとする。

7. その他

当機構が必要あると認めるときは、受託者と協議の上、本契約の内容を変更することができる。契約の履行について不明な点がある場合は、事前に当機構と協議し、これを確定すること。